
所 属 : 国際学部

職・氏名 : 教授 田川 玄

研究キーワード : アフリカ、エチオピア、ボラナ・オロモ、文化人類学

■研究テーマ

① テーマ：現代アフリカにおける老いの人類学

概要：現在、アフリカでは<老いの力>のグローバル化が進行しています。アフリカにおいて老人の権威は、政治経済領域だけでなく宗教儀礼領域を含んだ「力」として人びとに経験されます。本研究は<老いの力>のグローバル化が見られる東アフリカ地域を対象とした民族誌的な比較の手法を用いて、グローバル化が引き起こす<老いの力>の生成と変容のメカニズムを解明します。

② テーマ：グローバル化するアフリカ牧畜民の社会変化についての民族誌的研究

概要：エチオピアとケニアにまたがって居住しているボラナの人びとの生業、宗教、政治経済における 21 世紀の劇的な変容をフィールドワークから明らかにしていきます。個別のテーマとしては、民族間暴力、宗教間の対立、世代間紛争、行政組織と NGO による開発などに注目しています。

③ テーマ：記念碑的景観の形成

概要：都市に建立された記念碑を景観と集合的記憶の形成という観点から検討します。広島市では原爆と関連する記念物（慰霊碑・被爆建物・説明板など）に注目しています。

④ テーマ：無形文化遺産の文化政治学

概要：アフリカや他の地域などにおいて、無形文化遺産の登録にともなうプロセスを調査することにより、文化がどのように再帰的に形成されるのかに注目しています。

■研究テーマの応用例

文化人類学の特色の一つはフィールドワークという方法論にあります。フィールドワークは現在、各分野でその有用性が認められております。このフィールドワークの社会的な活用への助言を行うことができます。

■主な著書、発表論文

田川玄，慶田勝彦，花渕馨也編著『アフリカの老人』九州大学出版界，2016年。

田川玄「ウシの名を呼ぶ：南部エチオピアの牧畜社会ボラナにおける人と家畜の駆け引き」『人と動物、駆け引きの民族誌』奥野克巳編，はる書房，205-234頁，2011年

田川玄「男が戦いに行くように女は愛人をもつ」『セックスの人類学』奥野克巳・椎野若菜・竹ノ下祐二編，春風社，141-161頁，2009年

田川玄「現代エチオピアにおける民族間の暴力の諸相：南部エチオピアのオロモ系集団ボラナと隣接民族との紛争」『東アフリカにおける暴力の諸相に関する人類学的研究』平成18-20年度科学研究費補助金（基盤研究B・海外学術）研究成果報告書，29-48頁，2009年

田川玄「年齢組のパラドックスーエチオピア南部オロモ語系ボラナの年齢組の生成過程」『抵抗と紛争の史的アプローチーエチオピア 国民国家の形成過程における集団の生存戦略一』福井

勝義編, 2008 年

■想定される連携先

- ・ 公的研究機関
- ・ 教育機関
- ・ NPO/NGO